

2009-2010年度
ロータリーの未来は
あなたの手の中に

第2570地区
行田さくらロータリークラブ週報

国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ
「今を大事に」
ガバナー 加藤 玄静

会長方針
地域に咲かそうロータリーの花

会幹編 長事集 新井 啓 井 啓 介 義 春 孝 彦 渡 辺 昭 和 島 博 夫 五十 幡 島 博 夫
事務局 埼玉県行田市行田5-10
〒万石スリーハートビル3F
電話 048 (564) 3000番
例会日時 火曜日12:30~13:30
例会会場 ヘルヴィアイトピア
行田市持田2792-1
電話 048 (553) 3770番
URL <http://www.tvg.ne.jp/s-rotary/>
撮影 斉藤 恒会員 (水城公園)
印刷 マツオカ印刷株式会社

ジョン・ケニー会長

第 1714 回 (2 月 2 日) 例会報告

- * 点 鐘 新井 啓介会長
- * ロータリーソング 奉仕の理想
- * 4つのテスト
- * ビジター紹介 行田RC 小川雅以様
- * 結婚祝 松本健一会員
渡辺昭孝会員
川辺秀夫会員
- * 会長報告 新井 啓介会長
- * 幹事報告 島崎 義春幹事
- * 出席状況報告 上原 謙一委員長
- * ニコニコ報告 飯島 千裕委員
- * 委員会報告
プログラム委員会 矢澤大和委員長
さくら文化・環境委員会 松本健一委員長
- * 本日の卓話
「私の生業」 鈴木秀憲氏

結婚祝



会長報告



会長 新井啓介

先週 1 月 30 日(土)進修館高校に、コヒガン桜 2 本の植樹を実施いたしました。青少年交換学生の就学記念植樹として、イザベラ、ダニエラの二人と学校と行田さくらロータリークラブの三者で植樹することができました。

『私の生業』は、書きあがり了吗でしょうか？
1 月末日が締切日でしたが、もしも、まだの方は、是非書き上げてご提出お願い致します。これは、年次目標の一つので、職業奉仕委員会の担当で進めております『我らの生業』の発刊事業です。会員お一人お一人のご協力なしには出来ない事業ですのでよろしくお願い致します。

先週 1 月 30 日の土曜日、地区の職業奉仕セミナーがありまして、田島職奉委員長と参加して来ました。他のクラブのほとんどの職業奉仕委員会の事業は、会社訪問工場見学、インターシップの受け入れなどで、我々のクラブのような事業をやっているクラブも、やろうとしているクラブもありませんでした。職業奉仕は、会員個人で行うもので、クラブとしての取り組みは限られて来ると思われます。会員自身のい

ろいろな職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことこそ大事なことであり、職業奉仕が、ロータリーの金看板と言われるゆえんです。それには、会員全員が自分自身の職業をもしっかり見つけ、過去から現在と、見つめまとめ上げ、そして未来を展望できる機会としたり、自分史としたりして、『私の生業』としてまとめる事により、それは、ロータリアン同士の交流の礎になり、より広い交流と研鑽の場がつかれることでしょう。どうか、会員皆様の「私の生業」の原稿が、『我らの生業』の発刊になりますようご協力お願い致します。

本日は、吹上ロータリークラブのPast会長でもありますが、行田商工会議所、鈴木秀憲会頭にお越し頂きまして第4回「私の生業」を卓話頂きます。快くお引き受け頂きました鈴木会頭に、感謝申し上げます。

幹事報告



幹事 島崎義春

それでは、幹事報告をいたします

本日は、理事会が開催されました。

承認されました議案を、報告いたします。

第1号議案 3月のプログラムの件 【承認】

第2号議案

3月16日(火) 創立記念例会企画(案) 【承認】

第1号議案 第2号議案につきましては、事務局よりFAXにて、ご報告いたします。

第3号議案

4月4日(日)～6日(火) 慶州・釜山の 春季親睦観桜旅行企画(案) 【承認】

後日 親睦・家族委員長より 委員会報告をお願いします。

第4号議案

2月22日(月) ものつくり大学『さくら植樹に関

する事業』企画(案)

さくら植樹記念碑を含め【承認】

もの大学 13時30分集合 14時より植樹祭
第5号議案

4月4日(日) 第26回 行田市鉄剣マラソン

例年の通り1万円の協賛ということで 【承認】

2月の例会プログラムを確認

9日(火) 第2例会

会場が行田市郷土博物館の二階会議室に変更、食事は和歌稲の弁当。

開会の点鐘、12時30分 閉会の点鐘、

13時その後、学芸員の方と、館内を見学、終了が
13時40分

その後、会議室で質疑応答、解散は14時となっています。

13日(土) 第3例会

忍川のさくら植樹祭 集合が9時30分

10時より11時、式典、

会場は、忍川の左岸、翔栄橋付近、ロータリークラブの駐車場は小沢工業さんの駐車場を利用

その後、魚豊に移動して昼食後解散となります。

悪天候等が予想される場合、20日(土)に順延になる可能性あり。

23日(火) 第4例会

地区研修委員長 浅田 進 様をお迎えしての例会
続きまして報告事項です。

1月30日(土) 10時より、コヒガンザクラ 2本
イサベラとダニエラさんの青少年交換記念の記念植樹
進修館高校にて行ないました。

2月 7日(日) 第2回 地区ロータリー財団セミナー
国立女性教育会館

2月11日(建国記念日)

行田ロータリークラブ 主催 文化講演会
「人間学を学ぶ」

行田市教育文化センター「みらい」文化ホール

2月14日(日) 地区 ローターアクト(埼玉・西部)

第21回 地区年次大会

東京国際大学 第1キャンパス

2月20日(土)

第2回 地区クラブ奉仕部門セミナー

埼玉グランドホテル本庄

それぞれの、担当者の方は、出席を、お願いいたしま

す。本日は以上です。ありがとうございました。

出席報告

上原謙一委員長

会員数	出席対象者	出席	メーキャップ	出席率
41名	40名	26名	4名	75%

ニコニコ報告

五十幡 和彦委員

吹上ロータリークラブ 鈴木秀憲様 本日は卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。

行田ロータリークラブ 小川雅似様 本日はお世話になります。宜しくお願い致します。

新井会長 行田商工会議所会頭 鈴木秀憲様、本日はようこそお越し頂きました。卓話楽しみにしておりました。宜しくお願いします。
2月は世界理解月刊です。我がクラブは植樹月刊です。2/13忍川堤、2/22ものつくり大学です。皆様のご協力宜しくお願いします。

島崎幹事 鈴木様、本日は宜しくお願いします。1月21日は私の誕生日でした。娘の誕生日プレゼントのネクタイを今日は締めてきました。「地味ではないか」と言うと「年相応だ」とかえされ、ショックを受けております。

松本会員 結婚祝い、ありがとうございます。

川辺会員 鈴木会頭には卓話ありがとうございます。結婚祝いありがとうございました。37年になります。これからも一緒に天国に行けるよう相和してと思っています。

渡辺会員 結婚祝い、ありがとうございます。

小澤誠邦会員 ロータリーの友入選作です。「古希来ても 古希とは云えぬ 時代です」

清水会員 「街づくり 進める例会 初春の例会」
鈴木会頭さん、本日はご苦労様です。誕生日祝いは来週のことですが一句披露します。「雪かさね 歳を重ねし 生まれ月」

斉藤会員 鈴木会頭さん、本日の卓話、宜しくお願い致します。

古田会員 鈴木会頭はリーダーとして経済界を引っ張っている中、卓話でお越し下さり、ご苦労様です。

細井会員 鈴木会頭、卓話ありがとうございます。

横川会員 鈴木会頭、本日は卓話、ありがとうございます。

松本会員 30日(土)進修館に植樹コヒガン桜2本、13日(土)忍川植樹には多数の参加を御願ひ致します。

小澤健一会員 鈴木会頭、卓話宜しくお願い致します。

矢澤会員 鈴木会頭、ようこそお越し下さいました。会頭の生業楽しみです。

田中利幸会員 遅れましたが「私の生業」文章を手書きで原稿用紙で提出しました。田口さん宜しくお願い致します。

田島会員 原稿がだいぶ集まりました。お礼に3句「生業の 手書きの原稿 うれし泣き」「我が歴史 振り返り見る 3,000字」「生業の 原稿待つ日に 豆をまく」

半田会員 田島さん「私の生業」提出遅れて申し訳ありません。ん?何?何?新井会長もまだです。安心しました。

時田会員 明日は節分ですね。皆さん恵方巻を食べましょう。西南西を向いて食べましょう。

松岡会員 鈴木会頭、本日はようこそお越し頂きました。卓話楽しみにしています。

同文 戸ヶ崎会員、田邊会員、前澤会員、阿部会員、上原会員、永沼会員、五十幡会員

委員会報告



プログラム委員会

矢澤大和委員長

先週、お話ししました茂木薫さん監督の映画のご案内です。2月6日、土曜日より一週間、羽生のイオン、ワーナー・マイカル・シネマズにて上映されます。皆さん、是非、ご覧になってください。



さくら文化・環境委員会 松本健一委員長

さくら植樹の件ですが、2月13日、土曜日に植樹祭を行います。自治会、鈴木会頭、子どもたち60名から90名ほどの参加にて行います。よろしくお祈りいたします。

卓 話

「私の生業」

鈴木秀憲氏



卓話をさせていただきます。宜しくお願いいたします。

先程、新井会長が「私の生業」は自分史だと言っていました。私も自分の「脚下照顧」だと思って話をさせていただきます。

世界遺産運動は終わっていない

先日、貴クラブで卓話させて頂く事を有る人に言ったら、「また世界遺産かい」と言われたんですが、今日は私の生業と言うテーマを頂いていますので、そちらの話をさせていただきます。ただ、行田で何かの挨拶をする時に世界遺産の事を言わないと「世界遺産はもう終わったんかい」と言われちゃうんですね。まったく周りの人たちは気が早いというか気が短いとかね。世界遺産は、もっと長いスパンで物事を見ていかなきゃならないと思っています。石

見銀山は世界遺産と言う言葉が生まれていない昭和32年から世間へ売りだす運動をはじめ、50年後の平成18年に世界遺産になったのです。世界遺産を意識してから20年経ったそうです。

さきたまも世界遺産運動を始めてから古墳公園が大分きれいになってきました。予算の付け方が大変多くなっていて、来年3月迄に今の公園が倍の大きさに広がります。そして古墳の裏から古代蓮の里までは川沿いに遊歩道が整備されます。「地元で一生懸命やれば、県に動いて頂ける」と言う事を、私は自信を持って言えると思います。

親は子供の前では無理をする

初、私の生業の話をする前に触れなくてはならないのは、父の事です。私の父は軍人でした。職業軍人でしたから終戦で、職業が無くなってしまいました。たまたま軍で行田に来ていたので、そのまま行田で生計を立てるようになりました。その後、紆余曲折ありまして運送事業を興しました。実は、運送事業を興したのは1人ではなかったんです。いろんな人と共同して始めたので「協同貨物」という形で運送会社を建てました。というのは、当時、個人では免許してくれなかったんですね。各地の運送事業をやっている人を全部まとめて免許するよと言う事でした。

私自身は、最初はおやじがやっている運送屋をやつつもりは全然なく、工業デザインをやつつもりでいました。浦和高校で勉強して、東京工業大学か東大工学部行くつもりでした。しかし高校2年でいろいろ調べている内に、工業デザイン科は、国立1期では千葉大工学部にしかない、という事が分かり高校3年の時に方向転換しまして、そちらの方へ向かいました。

当然、工業デザイナーになるつもりで大学へ入ったんですけれども、学生の時に運送事業のアルバイトをしているうちに「おれ、うちの仕事をやんなきゃいけないのかな」という気になりまして、うちの仕事をやろうと決めました。今でも鮮明に覚えていますけれども、父親っていうのは子どもの前ではすごくいい格好をしている。いろいろ会社の事が分かってきたら、おやじは随分無理しているなっていうのを私なりに感じて「おれは本気で家業を一生懸命やらなくちゃいけない」と考え、運送事業をやることにしました。

自分の事業を創る

先ほども言いましたように、うちの会社自体が埼玉県全体を共同して始めたんですけれども、その後、みんな離脱していきまして、残っていた行田の共同経営者が、たまたま鈴木さんという方で名字が一緒だったんです。鈴木貞二

郎さんのお父さんです。周りの人から見ると「親戚だろう」と言われていたんですが、そうではなくて、ずっと一緒にやっていたと言う事です。鈴木貞二郎さんの事ですけれども、「どういう関係ですか」と、よく聞かれたのです。「私の兄貴です」っていつも答えていました。家内は家内で「貞二郎さんの奥さんですか」ってよく聞かれたそうです。

貞二郎さんはICを一生懸命やっていたので名前が知られていました。おやじはロータリーを一生懸命やっていました。すると、うちの会社で仕事を一生懸命やるのは私しかいないんですね。そういうつもりで私は一生懸命、仕事をやってきました。特に、貞二郎さんという存在がありましたから、一つの会社を同じ「鈴木」がやるのも窮屈な事なので、私は違う事を始めたいという気持ちを強く持つようになりました。

トラック運送をやっていたので整備部門がありましたが、それを独立させて私の仕事として整備事業を始めました。最初は同業トラックの修理ばかり...トラック事業者はいいんですね、昼間自分たちが稼いで、夜我々のところへ修理が回ってくるんですよ。始めてから3年間くらいはトラック整備をを一生懸命やっていたけれども、縁の下の力持ちで浮かばれないということで、今現在は、バス整備と乗用車整備専門でトラックの整備はうちのトラックもやっていません。

そのような状況の中で、バス事業を自分で始める事を考えるようになりました。

貨物運送事業はその後、比較的簡単に免許が出るようになったんですが、バス事業は新しい免許がもらえませんでした。免許をもらえたのは、ある運輸大臣経験者の衆議院議員が関係した会社だけがもらえたという状況だったんです。私は最初、お客様の社内外注みたいな形で、社員の送迎バスからやらせて頂く事を始めました。それでもなかなか免許がもらえず、最終的に県の養護学校の仕事をするようになった時に、運輸大臣から免許を頂けたというのが本当のところなんです。県の許認可じゃありません。契約先がしっかりしていると言う事で、特別に免許を頂きました。それをきっかけにしまして、いろんな会社さんの仕事の免許を頂けるようになりました。

基本精神

後発ですから、業界のいろんな勉強会に行かせてもらいました。そこで設立時からかかわっている団体があります。各地で「おれは」と思う人だけが入る、セレクトされた団体というものが出来まして、今では全国で2000社あまりの会社がありますが、その活動・運営を一生懸命やりまし

た。40代に本部委員長になり、副会長、会長を合わせて本部役員を20年近く勤めました。

その名前が「ロータス」というのですけれども、この「ロータス」という名前をローマ字風というか英語風というか...横文字にするとLOTASです。これはごろ合わせなんですけれども、これを今でも頭の中に入れて仕事をしていますので、しゃべらせて頂ければと思っています。ついでにLOTUSは蓮の事です。

LはLeaderです。**経営リーダーシップと業界リーダーの獲得**という、我々の言葉があります。自分の会社で確とした経営をすると同時に、業界の中ではリーダーシップをとらなきゃいけないという、経営リーダーシップと業界リーダーシップのLです。

OがOpinion。**革新経営者に求められる見識の醸成**と言う事です。常に勉強していかなければだめなんだと言う事です。ポイントはやはり「革新」だと思っています。

Tは、Traffic Industryと言う事で、trafficというのは、輸送・交通です。**交通産業の範疇における経営の追求**と言う事で、私どもは運送事業をやったり整備事業をやったりという形で自動車に関係する仕事をしています。逆に言うと、そこからは出ないという考え方で仕事をしています。少しずつ会社が伸びてくると、他所からいろんなお誘いが来るんですね。でもそれは一切やらないという考え方で、うまい話には乗らないと言う誓です。

その次がAのAmityと言う事でございまして、辞書で引くと友情とか親睦という意味です。

我々はこれを**親睦と互助の精神の遵守**と呼んでいます

最後のSは、Social Contributionと言う事で、socialは社会です。contributionというのは貢献なんですね。**地域社会に対する貢献**です。

会社の社訓というほどではないんですけれども、この5つの言葉を基本精神として肝に銘じてやらせてもらっています。

先ほども申し上げましたように、バス事業はなかなか免許が頂けなかったんです。どういうことかと言いますと、後発なんです。どこの業界においてもそうだと思うんですけれども、先発は既存の事業でどんどんやっていける、後発は工夫しないとやっていけないという事で、いろんな工夫を致しました。ここで一番言いたいのは、工夫しているんな

提案をしても、なかなか受け入れて頂けないという事です。そう言いながらも新しい道を開かなきゃいけないのですが、「ヒントはすべてお客様にある」と私は思っています。お客様が「こういうのなのかな」と言った時に、積極的に食いついていかないと、新しいものは出来ないんじゃないかと思えます。

我々の業界には、免許という問題がありますので、常に法律がくっついて参ります。お客様から「こういうのが出来ないか」と言われた時に「はい、わかりました」とはなかなか言えないんですけれども、私は基本的に「はい、わかりました」と先に言っちゃうんです。それで後からどうやっていくかを工夫するというやり方で、新しい仕事が出来たのかなと思っています。頭の良い人だったら、自分で新しい形態を考えてお客様に売り込むんでしょうけれども、そこまでの事は出来ず、いろんなところで「これ、出来ないかい」と言われてやってまいりました。

お客様の要望に応える

養護学校の仕事も最初はそうなんです。県立の養護学校ですから、今でこそみんながまねしてやりたがるんですよ。。でもうちが始めた時は逆で、「こんな仕事を出来ないかい」という感じだったんです。ほかのバス会社にはみんな断られていました。法律の壁とか従業員の問題とか色々あったと思うんですけれども、私自身は後発ですから、それを何とか出来ないかと言う事で始めさせて頂きました。今おかげさまで、養護学校だけで 40 台くらい走っています。

お客様の要望に応えると言う事だと思います。社員送迎バスというのも結構やらせて頂いています。社員送迎では、普通の送迎だけではなくて事業所間の輸送というのも結構あるんです。これは大きな会社でないと中々無いんですが、A事業所とB事業所の間の日中の事業所間連絡バスです。特におもしろいのは、例えば高崎線沿線の深谷に会社があります。片や中央線沿線の青梅に有ります。こう言うところの会社が実は分かっちゃうんですけれども、これを電車で移動すると約3時間かかるんです。それが、バスで圏央道を通って行くと1時間で戻っちゃうんですね。ですから時間短縮になります。何が商売になるか分からないと言う事です。それから東京から移転して来た会社というのがよくあったんですけれども、東京の板橋に社員の方が纏まっていて、そこまで迎えに行くんですよ。電車利用は時間がかかるがバスでしたら時間は短い。東京の会社へ集まった社員を迎えに行くと高速道路を使って会社へ連れてくると言う、いろんな考えもしないような事が有った。話

が横にそれましたけれども、いろんな要望で新しく仕事が発生して来るんだなと思います。

17、18 年経ちますけれども、駅から随分離れたところに大きなマンションが出来ました。路線バス会社さんにそのマンションの人達が、「路線バスを走らせてください」とお願いに行きましたが、路線バス会社さんは「そこをやっても儲からないからノーだ」と言ったそうです。マンションの人たちは困って「自主運行しよう」と言う事で役所へ聞きに行ったら、「それは駄目だよ」と言う事で、話が伝わって来ました。何とか出来ないかなと考え、現在も観光バスの免許でバスは走っています。

その後「たくさん人が乗るんだ」と言う事が分かって、路線バス業者が後から路線を引いて「うちも引きましたから、よろしく」と言う事で来たんです。そのマンションは 1000 戸あるんです。人口が多く、1戸3人としても 3000 人ですが、すべて私共のバスをご利用頂いています。路線バスよりうちの方が便数が多いんですよ。昼間の一番暇な時間帯でも 20 分に1本、朝の通勤時間帯はJRの上り一番から走り出しています。6時台になると 15 分に1本になって7時台になると8時まで5分に1本で、どこのバス会社も競争できないんです。それで日中は少しずつ暇になっていって、夕方から夜もまた朝と同じです。夜中も最終電車が来るまで...最終電車って乗った事ありますか？特に冬はそうなんですけれども、最終電車はよく遅れるんですよ。とにかくよく遅れるんです。今も多分そうだと思うんですけれども、東海道新幹線が遅れても高崎線の最終電車は遅れるんですよ。連携しているんです。それと雪の関係で冬は特に遅れます。そうすると下り最終の電車の時間では電車が来ないんですよ。うちは来るまで、情報を取りながら待っています。もう 10 年以上前になりますかね...ものすごく雪が降った時が有りました。JRが全部止まっちゃったというよりも、止まらないけれども1時間に1本位になっちゃって一晩中動いていたという時がありました。その時はうちのバスも一晩中動かしました。とにかくJRが動いている間はうちも絶対に動かします。他所がやらない事をして、「そんなんで儲かるのか」と聞かれますけれども、これはやり方によって収益はあります。とにかく、他でやらないことをやらせて頂くと言う事です。

卓話をするとロータリーのメンバーに同業者がいるから、真似されちゃうと困るなと思ながら話しているんですけれども、今、女子高校がお客様なんですよ。これもどこだか分かっちゃうけど、いろんなところがやりたいと言ってくるんですけど、「ずっと、うちだ」と言ってくれているので大丈夫で

しょう。嵐山に学校がありますが不便なんです。バスを出すまでは、行田あたりでは車でお母さん方が送って行ったんですよ。そこへバスを出すという話に来て、バスを1本だけ出したんです。人数的には少ないから1本あれば間に合ったんですが、昨今、特に4、5年前は下校時に女子高生が狙われるという問題が多く発生したんです。それ以来、その学校では他のコースにもどんどん本数が増えて、今は10台位走っています。最初は商売にならないかなと考えながら、お客様の希望するところをやって行けば出来るのかなと思っています。

言いたいことは何かと言いますと、「新しいものの提供は難しい」むしろ、お客様が何か言った一言をちょっとでも出来る形に持っていったほうが良いのかなと思います。あと、うちの新しい形態は循環バスをやらせてもらっています。上尾で循環バスをやらせて頂く時は...上尾は日産ディーゼルがあるんですが、「低公害バスで運行出来ないか」と言う事から、天然ガスでやったらいいのではという話になりました。当時、日産ディーゼルには中型バスと大型バスの天然ガス車はありましたが、小型バスの天然ガス車がなかったんですよ。小型バスを走らせたいという事で、じゃ、造っちゃうかと考えまして、運輸局との相談を何回も行って「造っても良い」という事になりました。造ってと言いましても、日産ディーゼルがつくった車を、天然ガスで動くようにするという改造なんです。そうしたらメーカーさんが「うちの車を勝手にいじるな」と言う事で出来なくなったんですけれども、止むを得ないと言う事で上尾の場合は、ディーゼルで走らせています。その後、結局、うちは自分のところで天然ガスで走るバスを造り、各市循環バスで使われました。現在はメーカーも協力してくれています。たまたま倅が工業大学の自動車学科というのかな、エンジンの専門屋さんですね。それで自分達で造って動かしまして、自分のところの車だけではもったいないと言う事で、バスは勿論バスだけではなく他所からも仕事を頂いて、現在、うちの仕事の一つの柱として天然ガスに改造することをやっています。

これもお客さんからは「低公害で走らせたい」と言う事で、市内循環用の小型バスがないというんじゃ何とかやってみようと思ったのが一つの仕事として、100%育っているとは言にくいですが、徐々に基礎を固めていると言う事になるかと思っています。常に無理だと思っても、やってみる事かなと思っています。

本当はこの後、地域貢献の話をいろいろして、最後は「目指せ世界遺産」にまで話を持って行きたいんですけれ

ども時間がないですね。あと2、3分ですが、事業承継をどうするかと言う事が、ある時期大きな問題になってくるだろうと思います。社員の方を育てて継いで頂くのもいいですし、人間の情として自分の子どもにやらせたいという気持ちもあるんだろうけれども、はっきり言って、親子は一つの会社ではなかなか上手くゆきません。私自身が実はそうでした。さっき言ったように、共同経営の方がいらっしゃるんで違う柱を創ろうと言う事で会社を創り、最初はバス1台から始めました。小さな会社でも自分の天下でした。うちは交通産業の範疇しか考えていませんが、でも従来と違うものを自分で持つと自分に自信が出てくるし、特に後発の会社の社員というのは親の会社を抜こうという気持ちが自然に出てきます。自分もそうやってきたし、今は倅がそういう形で「天然ガスの車を造ろう！」と言う事で、この部分は私が見てもちんぷんかんぷんで分からない部分ですから、彼はこれを自分の柱としてやっています。もちろんバス本体の営業は倅が率先してやっています。

コミュニケーション

コミュニケーションがなかなか難しいんですけども、コミュニケーションで役に立ったのはメールですね。倅との話をメールで始めました。メールで送るとすぐに返ってきました。電話してもだめなんですね。私の電話だと出ないし、出ても「今ちょっとお客さん来るから」とか言って切られちゃうんですが、メールで送ると返ってくるんです。

電話だと私も悪かったんです。「こんなのわかんねえのか」ってすぐに言っちゃうわけなんですね。ただメールで文章にすると「ばかやろう」なんて書けないですから、ご苦労さんとか書くんですね。ストレートに話が出来ないのが寂しい話ですけどもね、むしろ、いろんなデータなんかも添付してコミュニケーションをとっています。するとね向こうもいい気持ちなんです。これは本当の話です。

それと最後に大事な事を、父の代に協同経営でした。私の代も協同経営をしてきた。そして今は貞二郎さんの御子息が倅と共に協力してやっています。性格の違いから業務分担もしてうまくやっているようです。親子三代が親戚でも無い人と協同経営しています。いや親戚で無いから我儘を通す事も無くかえって良いのだと思います。

そんなことで時間になりましたので何か機会がありましたら、また続きを話したいと思います。

以上です。ありがとうございました。